何故、アメリカ人は
サプリを飲むのか？

— Self Care：自分のことは自分で決めたい米国人 —

米国 Nutrition 市場に30年いて分かったこと

J-PORT Company 代表　白石義明　|　北野高校 85期

米国成人の「サプリ好き」は本当か？

約60〜75%

米国成人のサプリ利用率
（調査方法により差）

CDC / NHANES

60.2%

CRN Consumer Survey

75%

（日本成人は25-30％程度＊）

数字は違っても、結論は同じ。
「米国成人の過半数がサプリを使う」

では、なぜ？

＊同一条件ではないが総務省Dataによる

この問いを解くための2つの鍵

01 医療制度

日本人には見えにくい
米国医療の「自己責任」

02 Self-Care

「自分のことは自分で決める」
という米国文化

医療 → 自由 → Self-Care → Nutrition → Supplement

日本人には見えない米国医療制度

医療保険	国民皆保険	原則、自分で選ぶ
自己負担	3割が基本	Deductible / Copay / Coinsurance
医療費	公的に強くコントロール	非常に高い
発想	「具合が悪ければ医者へ」	「まず自分で何とかする」

「保険に入っている」≠「医療費を安心して払える」

Medical Bill の桁が、日本人の想像を超える。

では、誰がこの医療費を払うのか？

01	02	03
WEALTHY	**WELL INSURED**	**MEDICARE**
自分で払える	優良なEmployer-Sponsored Insurance	65歳以上

それでは、この範疇にない人々は？

→ ここに ObamaCare が登場する

ObamaCare：保険理論と「個人の自由」の衝突

ACA / ObamaCare

- 既往症を理由に加入拒否できない
- Marketplace の創設
- 保険料補助
- Medicaid 拡大
- 当初は Individual Mandate ＋ Penalty

保険理論

Healthy people	保険料を払うが医療費は少ない
Sick people	医療費を大量に使う
→	病気の人だけ集まると保険料上昇
→ Mandate	健康な人にも加入してもらう

合理性はある。しかし「政府が加入を強制するのか？」

GOVERNMENT MANDATE

ObamaCare
Individual Mandate

COVID
Mask Mandate

vs.

INDIVIDUAL AUTONOMY

「誰が私の身体について
決めるのか？」

My body / My money / My choice

Individual Liberty / Personal Autonomy

そして、Self-Care が「健康市場」を作る

自分で選ぶ		自分で作る		自分で補う		自分で守る
食事	→	運動	→	Nutrition	→	Supplement
Real Food		Exercise		Functional Food		Self-Care

「自分の健康は、自分で管理したい」

Supplement は、その欲求に最も身近な商品になった。

RFK Jr. & MAHA：Health観は変わるのか？

Disease Treatment → **Root Cause / Prevention / Nutrition**

- 「Drugで病気を抑える」だけでなく、「そもそも病気を作らない」へ
- Ultra-Processed Food、食品添加物、肥満、慢性疾患などに焦点
- Medical Establishmentへの不信を強く打ち出す
- Nutrition / Supplement との親和性は高い

MAHA = 既存のSelf-Care文化 × 政府のHealth Policy

「自分の身体について、自分で決めたい」

↓

忙しい生活
→ Real Food だけでは足りないと感じる

↓

Nutrition → Functional Food → Supplement

↓

Self-Care：高い医療費や他者・組織への依存をできるだけ減らす

MAHA（Make America Healthy Again）にもつながる？